

# よきじょう

5月  
2018年

木城町

Kijo town Publicity papers

平成30年5月号 No.373

## INDEX

木城町日本酒プロジェクト完成披露会兼試飲会 ..... P 2

平成30年度 施政方針 ..... P 3

平成30年度 木城町予算の状況 ..... P 4

平成30年度 当初予算の主な建設事業 ..... P 5

木城町役場機構・職員配置図 ..... P 6

役場のニューエス紹介・木城町インフォメーション ..... P 7

平成30年度 木城町消防団交付式・消防団表彰 ..... P 8

木城えほんの郷第19回西日本国際財団アジア貢献賞受賞 ..... P 9

地域おこし協力隊が行く！ ..... P 10

人間麗蔵・堀口真彦さん交通安全功労者県知事表彰 ..... P 11

まちの話題 ..... P 11

いぶき No.121 ..... P 13

木城えほんの郷だより・町の人口 ..... 裏表紙



木城町日本酒プロジェクト完成披露会



## 日本酒プロジェクト

## 完成披露会兼試飲会

日時：平成30年3月22日(木) 午後5時30分から  
場所：木城町商工会館

木城町では、水田宮農の新たな手法として酒米による営

農体系の確立の可能性の模索と新しき村100周年、友情都市10周年の記念として、木城町と埼玉県毛呂山町とのプロジェクトで2種類の日本酒を製造しました。

## プロジェクト経緯

プロジェクト開始にあたり、酒米については、宮崎県総合農業試験場にて育成された酒造好適米「ちほのまい」に着目し、町内生産者3名の協力を得て48aの面積にて試験栽培を実施。種籾は県総合農業試験場より購入し、JA児湯の協力を得て播種育苗を実施。

醸造委託先については、友情都市の盟約を結んでいる毛呂山町にて麻原酒造(株)が醸造を行っていたことから、毛呂山町役場産業振興課の協力を仰ぎ、麻原酒造にて日本酒を製造していただけることとなりました。

なお、醸造にあたっては精米歩合を60%とし、純米大吟醸酒への発展の可能性も込めて純米吟醸酒と、60%精米の発泡性日本酒の2種類としております。

## 純米吟醸酒「城～不落の城～」

度数 15度 / 内容量 720ml / 価格 1,300円(税抜)

木城町史跡である高城城址は、戦国時代、高城合戦(耳川の合戦)と豊臣秀吉の九州征伐の2度の大戦において、寡兵ながら果敢に城を守り落城しなかった不落の城であり、文豪、武者小路実篤が理想郷とした新しき村は、木城町大字石河内の字「城」の地に開いていることから、木城町の「城」と、町を表す文字としてネーミングしました。

また、城は土から成り、作物は土から成ることに掛かっています。



麻原酒造(株)  
糸魚川清酒製造責任者からの説明



酒米生産者の方々



試飲会の様子

発泡性日本酒(スパークリング日本酒)

## 「Alabanza 賛嘆」

度数 12度 / 内容量 720ml / 価格 1,420円(税抜)

スペイン語で賛美、賛嘆、などの意味があり、武者小路実篤の作品の中に「山と山とが讃嘆しあうように…」との一文があり、木城町と毛呂山町が互いに努力し褒め称えあえる、讃嘆し合えるようにとの意味を込めてネーミングしました。

発泡性日本酒には炭酸が入っており、反対から読めばタンサン。遊び心も合わせています。



## 販売店 4月2日から販売開始(数量限定)

諸藤酒店、生田商店、大山酒店、スーパーウチャマダ、スーパーやまだ、石河内商会。

※ふるさと納税の返礼品としても出品中です。

# 平成30年度 施政方針



平成30年第1回木城町議会定例会が開会され、平成30年度木城町一般会計予算など、26件の議案及び1件の諮問が上程され可決されました。

半渡英俊町長が示した平成30年度の町政運営に関する基本方針について紹介します。

平成30年第1回木城町議会定例会にあり、平成30年度の町政運営に関する私の所信の一端と、施政方針を申し上げ、町民の皆様をはじめ、議員各位のご賛同とご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

さて、私は、平成27年4月の町長就任以来、諸先輩方が築かれてきました町づくりを引き継ぎ、町民や議員の皆様の声に耳を傾け、地方創生、地域担当職員制度、文化財問題、地域包括ケアシステムの構築など多くの課題に対して、その解決の実現に向けて取り組みを進めてまいりました。

町長就任1期目の最終年度4年目を迎えます。今後のさらなる町政発展に向け、未来志向の決意を新たにしているところでございます。これからの行政運営においても「人口減少社会」への対応があらゆる分野にわたって求められることになり、今後とも持続可能な行財政運営に努めてまいります。「人が元氣、地域が元氣、住んで良かった」と実感できる町を目指し、初心を忘れず、日々新、全力投球で、木城町のまちづくりに取り組んでまいります。

また、一昨年、策定いたしました「木城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」をもとに、人口減少対策と地域活性化対策を一つ一つ具現化してまいります。

さらには、「第5次木城町総合計画」で示されました木城町の目指すべき将来像

「みんなで創る明日に向けて翔くまち木城」の実現と、私の選挙公約、町民はじめ議員の皆様から寄せられましたご意見をもとに、本町の財政事情に配慮しながら、自らの地域は自らが決めるといふ決意をもって、施策や事業を熟慮断行、一つ一つ着実に取り組んでまいります。

次に、施政方針を申し上げます。

わが国の経済の先行きについては、緩やかに回復していくことが期待されるものの、海外経済の不確実性や、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があると見ます。企業収益は過去最高を記録するとともに、就業者数の増加、賃上げなど、雇用・所得環境は大きく改善する中で人手不足感はバブル期並みに高まっています。持続的な経済成長につなげるため、働き方改革と新技術の導入を同時に進め、生産性の向上と多様な人材の労働参加を図ることが大きな課題となっています。

地方では、地方交付税が減額される中、子ども・子育て支援や地方創生、公共施設の適正管理等に取り組むつつ、質の高い公共サービスを効率的・効果的に提供することが課題となっています。

本町では、地域の活性化を図るため、第5次総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた施策を実行していきます。平成30年度予算は、固定資産税（大規模償却資産分）の減少により町税が減少したものの、将来を通し健全な財政運営を行うため、自主財源である町税の確保、国県支出金、基金繰入や町債の発行など適切な財源確保と歳出の精査による財政健全化に取り組み、住民ニーズに適切に対応した、町民本位の福祉向上と地域の発展、教育の充実、農林業活性化を図るための予算の重点配分を行ったところであり、ふるさと納税については、カメラをはじめとする換金性のある高額な返礼品が禁止されたことの影響が現われておりますが、町税を補完する大きな財源として、又、地域振興に繋がる政策として、創意工夫を行いながら、その活用を推進していきます。

こうした中、当初予算は39億4千800万円とし、予算編成にあたっては、必要且つ重要な事業について計上いたしました。これら予算の執行にあたりましては、より一層の住民福祉の向上と、さらなる木城町の発展に向け、町民の皆様から寄せられました信頼と期待に応えるべく、誠心誠意、努力してまいり所存であります。

町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を、重ねてお願い申し上げます。平成30年度の施政方針といたします。

平成30年3月3日

木城町長 半渡英俊

# 平成30年度 木城町予算の状況

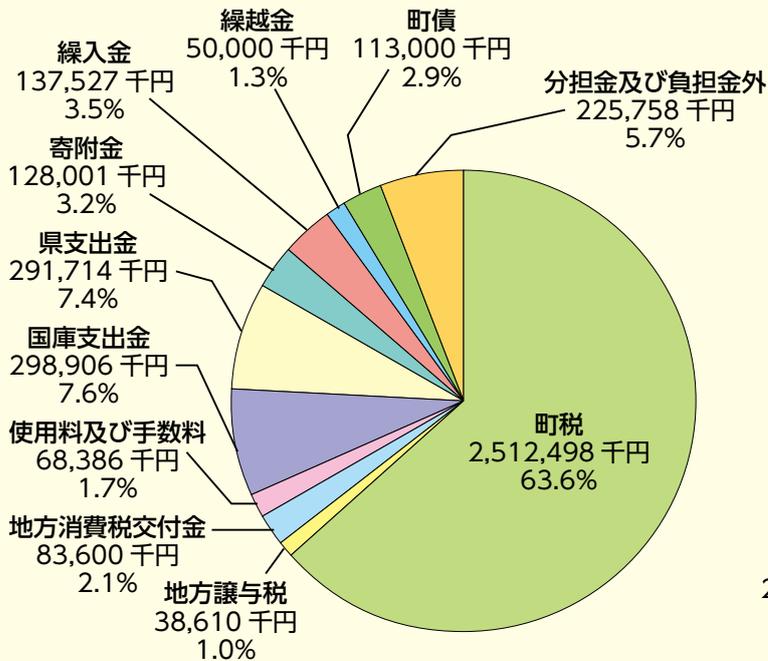
## 平成30年度 木城町当初予算の状況

平成30年度の当初予算は、一般会計39億4千800万円、特別会計18億8千400万円に決まりました。小丸川発電所の固定資産税(大規模償却資産税)の減少により町税はやや減少しましたが、自主財源の比率は依然高い水準を維持しております。社会保障関係等の扶助費や他会計繰出金が毎年増加傾向にあることから、より一層の歳入歳出の見直しを行い地域の振興、少子化対策等の町民福祉向上と減災対策のため財源配分を行いました。対前年度比は8.5%の減となっています。

### 目で見える一般会計予算

#### 第1図 歳入の構成

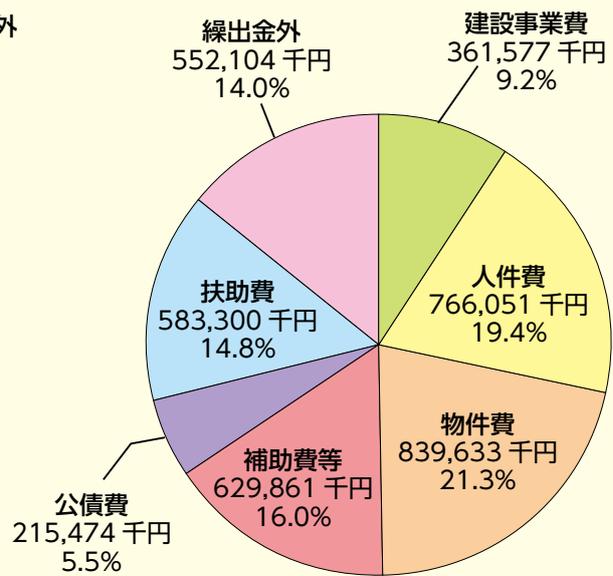
歳入を性質別に見ますと、町税、使用料及び手数料等の自主財源が76.6%、国・県支出金、地方譲与税等の依存財源が23.4%となっています。



歳入 39億4千800万円

#### 第2図 歳出の構成

歳出を性質別に見ますと人件費、扶助費、公債費の義務的経費が39.6%、建設事業費等の投資的経費が9.2%、物件費等の一般行政経費が51.2%となっています。



歳出 39億4千800万円

(単位：千円)

#### 第3図

#### 町税の内訳

科目		予算額	構成比
町民税	個人	128,152	5.1%
	法人	25,746	1.0%
固定資産税	土地	50,723	2.0%
	建物	154,105	6.1%
	償却資産	2,078,362	82.7%
	交納付金	31,702	1.3%
軽自動車税		22,086	0.9%
町たばこ税		21,622	0.9%
計		2,512,498	100.0%

## 平成30年度 当初予算の主な建設事業

(単位：千円)

事業名	事業費
比木ため池改修工事	49,900
屋敷原第2号橋修繕工事	26,800
中八重緑地公園浄化槽取替工事	21,598
中川原田畑線道路改良工事	20,257
福祉・保健センターLED化工事	13,996

### 起債現在高 (平成29年度末見込)

(単位：千円)

土木	教育	住宅	農林水産外	計
42,515	0	117,611	1,180,092	1,340,218

### 積立金の状況 (平成29年度末見込)

(単位：千円)

財政調整基金	町債管理基金	公共施設等整備基金	土地開発基金外	計
4,235,231	102,080	485,160	329,881	5,152,352

### 全会計予算

(単位：千円)

会計名	平成30年度	平成29年度	比較
一般会計	3,948,000	4,317,000	△ 369,000
国民健康保険会計	760,000	950,000	△ 190,000
簡易水道会計	155,000	133,747	21,253
下水道会計	184,000	178,069	5,931
介護保険会計(保険事業)	701,000	680,000	21,000
介護保険会計(サービス事業)	10,000	11,000	△ 1,000
後期高齢者医療会計	74,000	82,450	△ 8,450
計	5,832,000	6,352,266	△ 520,266



# 木城町役場機構・職員配置図

平成 30 年 4 月 1 日現在

特別職 3名

一般職 90名

定数 98名

課長職

課長補佐職

係長職

係員

総務財政課長  
中井 諒二

補佐(総括)  
黒木 宏樹

総務係長 松本 文勝 — 主査 稲田 宏美  
危機管理係長(主幹) 濱砂 光章 — 主査 泥谷 昌尚

主査 佐々木 恒太

**選挙管理委員会**

(併任)  
(書記長 中井 諒二)  
(書記 佐々木 恒太)

まちづくり推進課長  
吉岡 信明

補佐・兼  
鈴木 貴弘

企画調整係長(補佐兼) — 主任主事 松元 秀聡  
商工観光係長(主幹) 渡邊 雅洋 — 主事 高野 成仁  
電算係長(主幹) 江藤 輝幸 — 主事 三浦 明浩

**【総務財政課付】**

(宮崎県市町村課)主事 金丸 尚裕  
主任主事 文田 恵子

税務課長  
河野 浩俊

補佐・兼  
壺岐 和寿

賦課係長(補佐兼) — 主査 黒木 陽  
徴収係長(主幹) 長友 三保 — 主査 中村 伸悟

主査 森 晃一

主任主事 黒木 祐一

町民課長  
萩原 一也

補佐・兼  
平野 大輔

戸籍住民係長(補佐兼) — 主事 日高 真衣  
保険係長 桑原 幸一 — 主査 山田 暁子  
生活環境係長 橋口 直幸

主事 武吉 美紀

福祉保健課長  
小野 浩司

補佐  
谷岡 潔

福祉・子育て係長 平野 豊和 — 主任主事 黒木 正樹 主事 幸津 昭秀  
介護保険係長(主幹) 森 水琴 — 主査 眞崎 哲子 技師 甲斐 美紗貴  
衛生係長(主幹) 淵上 洋子 — 主査 橋本 早苗 技師 猪野 美帆 技師 森 有代

兼地域包括支援センター所長兼管理者  
小野 浩司

主任技師 橋口 陽子

めばえ保育園長  
岩村 みち代

主任保育士(主幹) 内田 瞳

主事 佐野 愛 主事 清 有希 主事 青木 真帆  
主事 菅 研一郎 主事 黒木 茜

環境整備課長  
押川 道彦

補佐・兼  
長友 渉

管理係長(主幹) 鍋倉 貴行 — 主事 長濱 優  
工務係長(補佐兼) — 主査 稲田 崇  
建築係長(主幹) 立山 英二  
上下水道係長(主幹) 高橋 茂義 — 主査 水口 信之 主事 徳井 一聖

産業振興課長  
淵上 達也

補佐・兼  
江口 将生

農政係長(補佐兼) — 主査 徳丸 孝枝 主任主事 小野 大希  
農林係長 橋本 敏博 — 主査 内野宮 克俊 主任主事 尾崎 仙秀 主事 日高 欣希  
耕地係長(主幹) 吉野 茂 — 主任技師 川野 教光

事務局長・併任  
淵上 達也

専門監・兼  
三隅 秀俊

農業委員会係長(専門監兼) — 主事 濱砂 裕紀

会計管理者兼会計課長  
津江 邦彦

会計係長(主幹) 廣瀬 豊 — 主任主事 黒木 和美

教育課長  
西田 誠司

専門監  
外山 保宏

学校教育係長(補佐兼) — 主事 松浦 麻美

主査 河野 哲史 主事 河野 竜太

補佐・兼  
小嶋 一洋

社会教育係長(主幹) 白岩 修 — 主任主事 巽 雄司 主事 堀口 太暉  
給食センター係長(主幹) 渡邊 千里

事務局長  
中村 宏規

議事調査係長(主幹) 廣瀬 孝一 — 書記(主査) 橋本 正枝

事務局長・併任  
中村 宏規

書記・併任(主査) 橋本 正枝

町長 半渡 英俊

副町長 横田 学

農委

教育委員会  
教育長 中竹 聖子

議会

監査

## 役場の New Face



福祉保健課 めばえ保育園 保育士  
あおき まほ  
青木 真帆

4月から「めばえ保育園」で勤務することになりました。隣の高鍋町出身で幼い頃からよく、木城町の「えほんの郷」に行き、自然や絵本に触れてきました。そんな木城町で働くことができ、とても嬉しく思います。初めてのことばかりで至らない点もあるかと思いますが、早く仕事に慣れ、木城町に貢献できるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



福祉保健課 介護保険係 保健師  
かい みさき  
甲斐 美紗貴

4月から福祉保健課介護保険係で保健師として勤務することになりました。昨年1年間は木城町地域包括支援センターに勤務し、主に高齢者の方々を中心にお世話になりました。私は延岡市出身であり、木城町で勤務しはじめた頃は、分からないことも多くありましたが、町民の皆様が優しく、そして温かく接して下さり、すごく素敵な町だなという印象を受けたことを、今でも鮮明に覚えています。そんな木城町で働けることをとても嬉しく思います。これから、もっと木城町について知り、より良いまちづくりのために、保健師として精一杯力を尽くしていきたいと考えています。至らない点多々あるかと思いますが、皆様のお役に立てるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 木城町Information

### コミュニティ助成事業により 中原公民館に音響設備・ 空調設備が整備されました

平成30年2月1日 中原自治公民館



一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」を活用して、中原公民館が音響設備（アンプやスピーカー、マイクなど）・空調設備（エアコン3台）の導入・設置を行いました。これにより、地区行事の様々な行事や、災害時等での避難所としての機能充実を図ることができました。

※コミュニティ助成事業とは、コミュニティ活動の促進と健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報を目的としています。

# 平成30年度木城町消防団辞令交付式

平成30年度木城町消防団辞令交付式が4月1日、役場3階大会議室で行われました。消防団幹部、部長及び各部の管轄地区は次のとおりです。1年間、よろしく願います。

## 平成30年度木城町消防団幹部・部長名簿

### 幹部

#### 階級

#### 氏名

#### 管轄地区

団長 矢野哲也

副団長 吉良清志

// 清哲郎

満広

第1分団長 上野

第1部～第6部

第2分団長 重永

本部、第7部～第11部

### 部長

#### 階級

#### 氏名

#### 管轄地区

本部部长 尾崎

町内全域

1部部长 椎

田畑、一向瀬、重木

2部部长 神田

四日市、出店、池田、中川原

3部部长 永友

中椎木

4部部长 神田

岩瀬上・下

5部部长 廣瀬

比木

6部部长 日野

陣之内、牧之内、中原、溜水、百合野

7部部长 横田

大字高城（中川原、田神、岩戸を除く）

8部部长 篠原

田神、岩戸、新岩戸

9部部长 河埜

大字川原全域

10部部长 江藤

大字石河内全域

11部部长 長友

大字中之又全域

ラッパ隊長 三浦

明浩 兼務



## 消防庁長官表彰(永年勤続功労章)受章 「第3部元団員 齊藤豊文さん」 日本消防協会長表彰(精積章)受章 「第2分団長 重永建二さん」

永年にわたり消防の発展に尽力された功績を称えて2名の方が表彰されました。齊藤豊文さん（中椎木）は、昭和63年4月に入団。第1分団第3部に所属する団員でありながら、消防入団以来30年を過ぎてもその卓越した指導力により第一線で活躍され、本町消防活動全体の発展に大きく寄与されました。

重永建二さん（新岩戸）は、平成11年4月に消防団に入団。温厚誠実で積極的な人格と卓越した統率力を見込まれ、平成22年4月から分団長に抜擢されました。現在も旺盛なる消防精神で、団の中心的な存在として活動されています。



第3部元団員 齊藤豊文さん



第2分団長 重永建二さん

## 木城えほんの郷

# 第19回西日本国際財団アジア貢献賞受賞

西日本国際財団の第19回アジア貢献賞に、木城えほんの郷(黒木郁朝村長)が選ばれました。1996年の活動開始以来、アジアを中心とした絵本原画1,100点や絵本2万5千冊を収集・保存し、子供たちが触れ合う機会を提供。作家の講演会や原画展も行い、木城の自然を生かしてアジア各国との交流を深めている点が評価されました。

黒木村長は、「受賞を励みに、今後も自然体験に基づいた絵本のイメージ体験の大切さを訴え、アジアをはじめとする国内外の絵本文化との交流を続けていきたい」と話されました。



## 地域おこし協力隊が行く!

vol.5

隊員 神田憲裕

木城町の皆様、こんにちは。木城町地域おこし協力隊の神田です。

今回は2月に東京で開催された「焼酎ノンジョルノ宮崎 in 東京 2018」に参加したときのことをお話したいと思います。

焼酎ノンジョルノは、県内の焼酎と地元食材を使った料理を県外の方や海外メディアにPRするイベントです。わたしは木城町の観光PRをするためにイベントに参加をしたのですが、その際に「えほんの郷」のことを知っておられる方がたいへん多く、どの方からもお褒めの言葉をいただきました。そのように木城町の施設を褒めていただけることで同町出身の人間としてたいへん嬉しく思いました。

親子でノンジョルノに参加していた東京在住のご家族が「えほんの郷には一度は訪れてみたい。えほんの郷に行くことを目的として宮崎に旅行する予定です。」とのお声もいただけたことは強く印象に残っています。

普段わたしたちは自分の身の周りにある風景が当たり前になり、それが特別なこととは感じにくいものです。それは毎日の生活が現代社会を生きるための「生産的活動」となっているからだと思います。

そんな慌ただしい毎日から一歩離れることができる環境が木城町にはありますし、その環境は他所の方からしたら羨ましいと思われるほど素晴らしいものです。

今回は県外で活動することで町内の魅力を改めて知れる貴重な経験となりました。

Facebook 宮崎県木城町観光協会  
Instagram @kijokankou  
ホームページ【木城町観光協会】で検索  
URL:kijokanko.com



# 人間 ばんざい 萬歳 にんげん

NINGEN BANZAI



つ え ゆう き  
**津江 祐貴**さん (25 歳)  
岩瀬

- お仕事 / 看護師
- 趣味 / 映画鑑賞
- 家族構成 / 父・母・弟

このコーナーは、毎回町内在住・勤務されているいろいろな方々に登場していただきます。  
さて、今回登場するのは、この人！

## ● 自己紹介

病院で病棟勤務をしています。より良い看護を提供できるように日々勉強に励んでいます。  
(病棟勤務をしながらの勉強は大変かもしれませんが、頑張ってください。応援しています！)

## ● 最近の出来事やニュースで気になったこと

友人達が次々と結婚してパパになってゆく姿を見て、自分も早く結婚して幸せな家庭を築きたいと思いました。花嫁募集中 (笑)  
(出会いはいつ転がりこんでくるか分かりません。あせらず待ちましょう。すてきな出会いがきっときますよ！)

## ● その他・・・コメント

週3で湯らら行ってます！  
(湯ららを利用いただきありがとうございます。週3回も使っていただけなんて…感激です！)

## ～町長報告～

# 堀口真彦さん交通安全功労者県知事表彰

平成 30 年 2 月 15 日(木) 役場応接室

堀口真彦さん(岩戸)は、平成9年から木城町交通指導員として従事され、本町の交通指導員として通学路における街頭指導に加え、各学校が主催する交通安全教室などにも積極的に関わる事で、交通事故の減少に尽力していただいております。その功績が認められ今回表彰となりました。



現在は、木城町交通指導員会の会長として、各種催事における交通安全活動に対し積極的に携われ、交通安全対策における中心的役割を果たされております。

## 選挙出前授業を実施しました

給食選挙で投票体験 平成 30 年 3 月 9 日(金) 木城中学校

木城町選挙管理委員会（田爪一男委員長）は、政治や選挙を身近に感じてもらう若者層の政治参加への啓発を図るため、木城中学校 3 年生 36 名を対象に出前授業を実施しました。町選挙管理委員会の佐々木恒太書記が講師を務め、授業の前半はパワーポイントを使った選挙制度についての説明、後半は模擬選挙『木城中学校 3 年生給食選挙』を行いました。

『木城中学校 3 年生給食選挙』は、中学校生活最後の給食を投票により生徒自身が決めるというものです。投票に際しては、選挙で実際に使用している投票箱や記載台等を用いて実際の投票所に近い環境を作り、実際の選挙と同じ『投票』を体験していただきました。なお、投票管理者・投票立会人・事務従事者は、町選管委員が務めました。今回は、「じゃが豚キムチ定食」と「鶏飯セット」2つのメニューが立候補し、投票結果は「じゃが豚キムチ定食」14 票、「鶏飯セット」20 票、「無効票」2 票で、『鶏飯セット』に決まりました。



## 高鍋舞鶴ライオンズクラブから竹ぼうきが寄贈されました

平成 30 年 3 月 8 日(木) 木城小学校・木城中学校

高鍋舞鶴ライオンズクラブ（図師博規会長、23 人）から、木城中、木城小に竹ぼうきが 40 本ずつ寄贈されました。

贈呈式は、木城中であり、図師会長が「地域の子どもたちに元気になってほしいとの願いを込め、毎年児湯郡の小中学校に贈っている。学校の美化活動に取り組んでください」とあいさつされ、代表の生徒に手渡ししました。



## 故 佐々木堯氏に旭日単光章が授与されました

ご自宅にて伝達式を行いました 平成30年2月15日(木) 牧之内

故 佐々木堯氏の多年にわたる木城町議会での職責が讃えられ、地方自治功勞に係る高齢者叙勲として平成30年1月1日付けで、旭日単光章が授与されました。

当初、2月7日(水)に木城町役場にて伝達式を行う予定にしておりましたが、2月3日(土)にご逝去され、2月15日(木)にご自宅にて、黒木泰三議長同席のもと半渡英俊町長から奥様である睦子様にお渡しいたしました。



## 村橋哲子さんと黒木律子さんに水道関係功勞者表彰

～表彰報告～ 平成30年2月26日(月) 役場応接室

長年に渡り、水道水質監視員(毎日検査)として尽力された村橋哲子さん(岩淵)と黒木律子さん(川原)が高鍋保健所長から水道関係功勞者として表彰されました。村橋さんは平成8年4月から、黒木さんは平成12年4月から、毎日、自宅の水道水の残留塩素濃度検査を行い、町民の皆様にご安心で安全な水の供給が行なわれているか監視を行なっていていただきありがとうございます。長年の活動に感謝申し上げます。



右から黒木律子さん、村橋哲子さん

## 活力と潤いに満ちた生きがいと魅力あるまちづくり

### 木城町生涯学習のつどい開催

今年のテーマは、「未来へつなぐ生涯学習笑顔のつどい」として開催されました。内容は、自治公民館活動、生涯学習関連の表彰、実践発表として、地区子ども会の活動報告、木城小4年生による合唱・合奏等が披露されました。

また、野田恭子さんによる講演は、自身の子育ての経験を通じた内容で来館者の心に訴えるとても素晴らしい内容でありました。

そして娘の野田あすかさんによるピアノ演奏は、美しい音色であり、好評を博しました。



野田恭子さんの講演



野田あすかさんによるピアノ演奏

### 新しき村(日向の村)100周年記念事業シリーズ「武者小路実篤 この道を歩く」①



人間萬歳 記念碑

この碑は、木城町白木八重牧場の標高 460m の高台にあり、東に日向灘の水平線を眺められる立地で碑の姿も堂々として美しくあります。

1918年(大正7年)に日向新しき村が誕生し、その50周年の記念として、1968年(昭和43年)に当時の木城村長・村議会が一致して建碑を企画・竣工するに至りました。

武者小路実篤が理想とした「全ての人が天命を全うすることができる、共に生きる社会の実現」を目指して人間ひとりひとりが本当に尊重される時代を祈っているようです。

(日向新しき村 100周年記念事業実行委員会)

### 木城町のなつかしい道具①



これは  
何だろう？

ヒント

重さをはかるために使いました。

今月号から木城町の民俗資料をクイズ形式で紹介いたします。総合交流センターリバリス 2階交流コーナーで展示中です。第1回の展示テーマは「中之又の暮らし」です。5月～7月まで展示しています。是非おこしください。

※ 正解については、次回7月号でお知らせします。  
(教育課嘱託職員 佛山友香)

木城えほんの郷 2018

# のんびり ゆつたり みどりのゆりかごにつつまれて

大人も子どもも山学校

2018年 4月21日(土) ~ 5月27日(日)

料 金: 大人 500円 小中高生 300円 (前売り券/100円引き)

木城えほんの郷2018

オープニング  
めだかの学校の入学式  
4月29日 11時~

えほんの郷の光と風の中であそぼう  
大人も子どもも山学校(4/30、5/3、4)  
春のむしむし探検隊(5/5)  
コケの一念(5/6)

## 森のえほん館

絵本原画展示作品

- 『まこちゃんとおエロン』  
こさかまさみ作・やまわきゆり絵 福音館書店
- 『やまわきゆりこのえはがきえほん』  
やまわきゆり絵 のら書店
- 『みずくさむらとみずべむら』  
カズコ・G・ストーン作 福音館書店
- 『桃源郷ものがたり』  
松居直 作・蔡皋(さいこう)絵 福音館書店

## 野だて

(5月4日、5日)

## 絵本トーク

- 「小学生の絵本」 (4/29)
- 「赤ちゃん絵本」 (4/30)
- 「おはなしを聞こう」 (5/3)
- 「わらべ唄」 (5/4)

## 森のきこり館

絵本フェア

「こんなにたくさんの絵本があるよ」

## 森のコーヒー屋さん

めだかの学校のお米で作った  
手作りのカレー  
ケーキ&コーヒーはいかが?

## 手づくりあそび

- 竹を使って 作って遊ぼう (4/29~5/6)
- 釣りざおを作って魚を釣ろう (4/29~5/6)
- びつくりぴよん (5/4)
- ペーパーバックを作ろう (5/5)

新緑の美しい季節がやってきました。

木城えほんの郷は、今年23年目を迎えました。

この間、ネット社会はますます進行し、自然からは遠く離れる人工的な空間がますます増大し、  
コマ切れにスピードアップする時間の中で、

ヴァーチャルなイメージに四六時中さらされる現代社会が現出しています。

子どもたちは今、人間の心とクラウドを作っていく子ども時代になくはならない、

ユツタリとしたヒトカタマリの時間につつまれる、真にリアルな、そして、多様なイメージ体験をする  
自然の中の遊びの時間から遠ざかる、異常な環境の中にあるといついでいでしょう。

木城えほんの郷は、子どもの時に許されたひとかたまりの時間、「子どもの時間」の中で、

自然の中にひたり、五感全部を使って、たくさんの人間や様々な自然の生命に出会う、

生きたイメージ体験をすることと絵本や昔ばなしのイメージが心の中で響き合うことが大切なことだと考えてきました。

そして今、大人もここに帰ってきて、絵本に世界に浸り自然の時に包まれて、

失われた時間をとりもどしてほしいのです。

のんびりゆつたりみどりのゆりかごに包まれて、

木城えほんの郷の緑の光あふれる初夏の一日を、お楽しみください。

お問い合わせ・申し込み

木城えほんの郷

〒884-0104 宮崎県児湯郡木城町石河内475

TEL 0983-39-1141 FAX 0983-39-1180 E-mail: ehon@kijo.jp

## 木城町の人口

(平成30年4月1日現在)

■ 人口: 5,126人 (先月比-20人) 男: 2,386人 (-16人) 女: 2,740人 (-4人)

■ 世帯数: 1,973世帯 (先月比±0世帯) ■ 町面積: 145.96km<sup>2</sup>